



きよかわむら 社協だより

2018
2
No.198



80代の高齢者が活躍中!

〜地域支援事業担い手

〜養成研修で先例地視察〜

本会が共催で行っている村緑ことぶぎ連合会主管の『地域支援事業担い手養成研修』の第3回目が1月16日に行われ、煤ヶ谷上地区、清水ヶ丘地区の会員、民生委員等11名が横浜市の公田町団地で活動されている『NPO法人お互いさまねっと公田町団地』を視察しました。この団体は、毎週火曜日に野菜や魚等の生鮮品、お弁当等を販売する『あおぞら市』や常設のサロン活動等を行っており、当日は代表の有友フユミさんから活動を始めた経緯、具体的な内容、利用者の意見等を伺いました。また、有友さんは、あおぞら市の品物は、子どもからお年寄りまでが利用するので、お弁当や駄菓子、日用品まで利用される方の要望を聞いて揃えているとのことでした。視察した会員からは『小さなことから少しずついい。やるからには、自分たちも楽しもう』という言葉が印象的だった。『80代の方も担い手として活躍していると聞いた。高齢でもお互いに助け合える地域作りが必要と感じた』などの感想がありました。

2月号 おもな内容

- | | | | |
|-----------------|----|--------------|----|
| ●ボランティアの扉 サロン活動 | 2P | ●柿坂サロンでお茶飲み会 | 3P |
| ●宮ヶ瀬小学校全校福祉体験授業 | 3P | ●社協からのお知らせ | 4P |
| ●デイサービスで福笑い | 3P | | |

※みなさまの会費の一部は「社協だより」の発行に充てさせていただきます。

ボランティアの扉 サロン活動

高齢者から子どもまで誰もが、いつでも気軽に立ち寄り交流できるサロン活動。平成20年12月に清水ヶ丘・金翅地区で開始された「ふれあいの日～紡ぎの集い～」が1月の実施で100回を数えました。そこで、代表の月本美和子氏ら運営委員3人に、現在の思いや今後の抱負等について伺いました。

Q. 100回達成おめでとうございます。100回という数字を、改めてどう感じていますか。



月本氏 気がつけば10年目に突入！100回とは驚きです。この間の延べ参加者は約2658人。ここまで続けることができたのは何かと協力して下さった地域の皆様や会場に足を運んで下さった皆様のおかげです。そして、明るく優しい運営委員の皆様のおかげでもあり、全ての皆様に感謝感謝です。

Q. ボランティアからなる運営委員は現在6人ですが、最初から変わらないのですか。



長谷川氏 いいえ。昨年3月までは私が代表を務めてきたのですが、転居されてしまった方、都合により辞められた方が5人います。一方、昨年12月には新たな仲間が1人加わりました。

Q. 運営委員に変動があったとのことですが、参加者に変化はありますか。

月本 9年間やってきたのでもちろんあります。ただ、最初からずっと参加してくれている方が6人もいますし、時代を超えても老若男女が交流している風景は変わりません。

Q. 花輪氏は、当日の様子を毎月発行している回覧用のチラシに掲載していると聞きましたか。



花輪氏 はい。「紡ぎ」「集い」にふさわしい様子が参加していない方にも伝わるように工夫して作成しています。9年目に入った昨年1年間は、過去の写真を抽出し、再掲載しました。



Q. 今後の抱負をお聞かせ下さい。

長谷川 この活動は、文化の発信基地になったと思います。でも、住民の感覚がなくては続かない。これからも、地域の人たちの力で発展して行って欲しいと思います。

月本 どこまで継続できるかはわかりませんが、たとえ一人でも参加してくれる方がいる限りは続けていきたいです。そのためにも、是非若い方にも興味をもってもらい、地域の情報交換の場として地域の人たちに楽しんでいただけたらと思います。

手話は「表情が大事」

宮ヶ瀬小学校全校福祉体験授業

1月15日、宮ヶ瀬小学校で『全校福祉体験授業』が行われました。これは、児童に障害者の方やお年寄りの方への理解を深め、様々な人と支え合って生活していくこととする心情を育ててもらおうと同校が毎年行っているもの。今年、講師に愛川町手話サークルの熊坂繁子さんと木口有子さんを招き、手話でのあいさつの仕方やものの表し方などを学びました。日頃、朝の会で指文字を覚えていているという児童でしたが、緊張からか始めは思うように手が動きませんでした。しかし、「手話は表情が大事。障害者によつては口の動きを見て読み取ります。しっかりと声も出して」と熊坂さんが話す、徐々に児童の表情も緩み、手を動かしながら声も出せるようになりました。児童は「難しかったけど、自分の名前が手話で出来て良かった」と嬉しそうでした。



笑う門には福来る

デイサービスで福笑い

デイサービスでは新年を迎え、日中の活動はおみくじ、かるた、百人一首、福笑いとお正月ならではのプログラムを利用者が童心に帰り楽しみました。特に福笑いに関しては、顔のパーツを周りの利用者や職員からの指示で置き、出来上がった顔を見て、全員で大笑いし楽しみました。参加した利用者は、「簡単にできると思ったけど、意外と難しいな」「みんなと笑って、いい新年を迎えられた」と、この日振る舞われた甘酒を味わいながら話していました。



来月が楽しみ

柿坂サロンでお茶飲み会

1月15日、柿坂自治会館で柿坂サロンが行われ5人が参加しました。この日の内容は『お茶飲み会』。ゆずジャムの作り方や趣味のフラダンス、社交ダンス、村の体操教室の話題等話に花が咲きました。また2月のお茶飲み会は『厚木へ外出して昼食を食べる』ことに先月決定したので、場所や日時、移動手段等について意見を出し合いました。「あの店のランチが美味しい」「車ではなくバスの方が駐車場を探す手間がない」「予約はしておいた方が安心」などの意見があがり、無事決定しました。話し合いを進める中で「せっかくだから有志でカラオケに行こう」との提案があり即採用。参加者は「2月が楽しみだ」と声を弾ませていました。



知っておきたい「うつ病」のお話 ～こころとからだの変化と回復する力～

うつ病の正しい知識と再発予防についてお話いただきます。うつ病は、ストレスや環境の変化などから起こることもあります。ご自分の体調をふり返り、「うつかな…？」と思った時に、ご自身も周囲のご家族も、あわてずに対応するための方法を学んでみませんか。

日時 平成30年3月15日(木)
午後2時00分～午後4時00分
(受付：午後1時30分～)
会場 平塚市美術館1階ミュージアムホール
(住所：平塚市西八幡1-3-3)
※駐車場は、1月から有料になりました。
また、駐車台数に限りがございますので、公共交通機関をご利用ください。

内容 講演会
講師 精神科医 山田和夫氏
横浜尾上町クリニック院長
東洋英和女学院大学人間科学部教授
“世界一受けたい授業”などにも出演されています。

参加費 無料
定員 先着100名(事前申込)
主催 神奈川県精神保健福祉センター
申込方法 3月9日(金)までに申込用紙にてFAX、または直接お電話にてお申込みください。申込み用紙は、清川村社協窓口にあります。

お問い合わせ先・お申込み先
神奈川県精神保健福祉センター 相談課
TEL 045-821-8822(代表)
FAX 045-821-1711

第18回Aネットセミナー

知的障害者施設とその家族によって構成される厚木地区福祉ネットワーク2006では、施設利用者の権利擁護の取り組みを進めています。18回目となるセミナーのテーマは「意思決定支援」です。セミナーを通じて人権について見直すとともに、貴重な経験を共有できる機会となっております。皆様のご参加をお待ちしております。

日時 平成30年3月3日(土)
午後2時00分～午後4時00分
会場 厚木市荻野運動公園会議室
内容 講演 テーマ「意思決定支援」
講師 鈴木敏彦氏
(和泉短期大学教授)

参加費 無料
定員 80名
主催 厚木地区福祉ネットワーク2006
NPO法人あつぎ福祉ネットワーク
協賛 厚木地区知的障害施設連絡会

お問い合わせ先
厚木精華園日中支援課 担当 新山
TEL 046-280-4395
FAX 046-291-0949
E-mail atg-nicchu@kyoudoukai.jp

回収にご協力ありがとうございます

平成29年12月～平成30年1月

○ペットボトルキャップ	12件
○古切手	5件
○使用済みプリペイドカード	0件

編集・発行

社会福祉法人

清川村社会福祉協議会

〒243-0195

神奈川県愛甲郡清川村煤ヶ谷2220-1

清川村保健福祉センターひまわり館内

電話 046(287)1118

FAX 046(287)2013

清水ヶ丘・金翅地区で行われているサロン活動『ふれあいの日』紡ぎの集いの開催が100回を迎えたことを紹介しました。インタビュの際、スタッフも参加者と一緒になって楽しんでるのが印象的でした。1ページの研修先の有友さんからの言葉にもありました「自分たちも楽しむ」ということが長く続ける秘訣なのだとあらためて実感しました。

はなと
うおーむ